主要な生成AIソール一覧

初心者向けにわかりやすく解説



はじめに:生成AIとは?

- **生成AI (Generative AI)** とは、新しいコンテンツを作り出すことができる人工知能技術です
- ◆ テキスト、画像、音声、動画など様々な形式のコンテンツを生成できます
- ☆ なぜ今重要か:技術の急速な進化により、品質と使いやすさが飛躍的に向上しています



生成AIの種類

テキスト生成AI

文章、会話、翻訳、要約などのテキストコンテンツを生成

画像生成AI

写真、イラスト、アートなどの視覚的コンテンツを生成

動画生成AI

短編動画、アニメーション、映像効果などを生成

音声生成AI

ナレーション、音楽、効果音などの音声コンテンツを生成































テキスト生成AIの主要ツール

ChatGPT (OpenAI)

自然な会話形式で多岐にわたる用途に対応する大規模言語モデル

Claude (Anthropic)

高い文章理解力と丁寧な表現が特徴の安全性重視のAIアシスタント

Gemini (Google)

Google Workspaceと連携し、日本語出力の精度が高いチャットベースAI

Grok (xAI)

X (旧Twitter) と連携し、リアルタイム情報取得とユーモアある 対話が可能

··· その他の主要ツール

DeepSeek、Microsoft 365 Copilot、Catchy、Notion Alなど



テキスト生成AIの進化と活用事例

マルチモーダル機能の拡大

テキストだけでなく画像、音声、動画、コードなど複数の形式を 扱う能力が向上

- ・ 既存エコシステムへの統合
 - Microsoft 365やGoogle Workspaceなど既存の業務環境との連携 強化
- りアルタイム性の向上 最新情報へのアクセスと処理能力が意思決定の質を向上
- プライバシーと倫理的配慮 データ保護、著作権、バイアス軽減など安全な利用への取り組み







主な活用事例

- 🖹 ビジネス文書 (メール、報告書、提案資料) の作成
- ▶ カスタマーサポートの自動応答
- </>
 </>
 プログラミングコードの生成と最適化
- ▲図 多言語翻訳と文化的コンテキストの適応

画像生成AIの主要ツール

Midjourney

高品質な画像生成と細かい構図・色・質感の追求が可能

Discord/Web 商用利用可

DALL-E (OpenAI)

ChatGPTと連携し、自然言語から多様なスタイルの画像を生成

商用利用可 ユーザー所有権

Stable Diffusion

オープンソースで、テキストと画像の両方から新たな画像を生成

Web/ローカル 日本語版あり

Adobe Firefly

画像、動画、音声、ベクターグラフィックの作成が可能

商用利用可 共同作業

その他の主要ツール

Canva Magic Studio Cream 3.0 Hailuo Al Artbreeder DeepArtなど



画像生成AIの進化と活用事例

☑ 品質向上とリアルタイム性

テクスチャ、細部の一貫性、リアルさが大幅に向上し、生成速度 も高速化

マルチモーダル入力と編集機能

テキストだけでなく既存画像を基に新しいバリエーションやスタ イルを生成

※ アクセシビリティの向上

専門知識がなくても高品質な画像生成が可能に、ビジュアルコンテンツ制作の民主化

🥕 商用利用と知的財産権

生成画像の所有権、商用利用の可否、倫理的ガイドラインへの対応が重要



主な活用事例

- ▲ マーケティング素材 🁚 商品デザイン
- 書籍・雑誌イラスト 🔡 コンセプトアート
- アート作品制作UI/UXデザイン

動画生成AIの主要ツール

■ Sora (OpenAI)

テキストから高品質でリアルな動画を直接生成する次世代動画生成AI

数秒~1分 高忠実度

Runway

複雑な動きやカメラ操作に最適、動画編集と生成AIを融合

プロ品質 Gen-4

/ Pika (Pika Labs)

短尺動画に特化、直感的なツールで技術スキル不要

最大10秒 シネマティック

その他の主要ツール

FlexClip (日本語対応) 、KaiBar (アニメーション特化) 、 Synthesia (Alアバター)



ツール名	入力形式	最大動画長	主な特徴
Sora	テキスト、画像、動画	数秒~1分	最高品質、多機能
Runway	テキスト、画像	可変	プロ用途、映像制作
Pika	テキスト、画像、動画	最大10秒	使いやすさ、短尺特化

動画生成AIの進化と活用事例

■ リアルさと制御の高度化

映像の忠実度とモーションの滑らかさが向上し、細かい制御が可能に

ヌ マルチモーダル入力の活用

テキスト、画像、既存動画から新しい動画を生成し、既存アセットを再利用

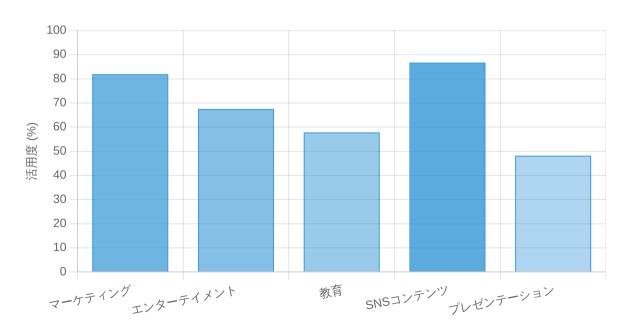
2 利用の容易さと普及

技術スキル不要で高品質な動画制作が可能に、コンテンツ制作の 民主化

★ 特化型ソリューションの台頭

アバター動画、アニメーション、音声連携など特定用途に最適化されたツール





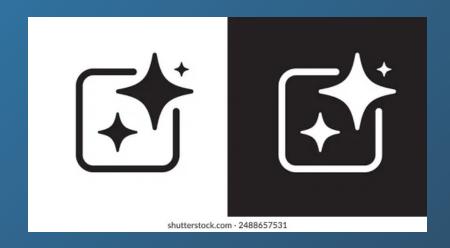
まとめと今後の展望

∠ 生成AIの現状

- ジ テキスト、画像、動画、音声など多様なモダリティで急速に進化

● 今後の可能性

- ✓ マルチモーダル統合によるより自然で高度なコンテンツ生成
- ✓ 業界特化型AIツールの増加と専門分野での深い活用
- ❷ 倫理的配慮と法的枠組みの整備による安全な利用環境の構築



ツール選定のポイント

- ◎ 目的に合った特化型か汎用型かを選択
- ☎ 既存システムとの連携性を確認
- データプライバシーと知的財産権の扱い
- 😝 コストパフォーマンスと利用制限の確認